

microSTATION

MUSIC WORKSTATION

Editor/Plug-In Editor

ユーザー・ガイド



EDS-i Enhanced Definition
Synthesis - integrated

REMS

GENERAL
MIDI

目次

はじめに	1
おもな特長	1
使用前のご注意	1
microSTATION Editor、microSTATION Plug-In Editor動作環境	1
Windows	1
Macintosh	1
インストール	2
Windowsへのインストール	2
KORG USB-MIDI Driverのインストール	2
microSTATION Editor / Plug-In Editorのインストール	3
Mac OS Xへのインストール	4
セットアップ	6
microSTATIONのセットアップ	6
microSTATION Editor(スタンドアローン版)のセットアップ	6
Windows XP/Windows Vista/Windows 7	6
Mac OS X	6
microSTATION Plug-In Editorのセットアップ	7
microSTATION Plug-In Editorについて	7
microSTATIONのオーディオ信号を外部ミキサーでコントロールする場合	8
microSTATIONのオーディオ信号をホスト・アプリケーション上で コントロールする場合	8
ホスト・アプリケーションの設定	9
Apple - Logic Pro 9	9
Steinberg - Cubase 5	10
Ableton - Live 8	11
MOTU - Digital Performer 7	12
Digidesign - Pro Tools LE 8	13
Cakewalk - SONAR8/8.5	14
その他のホスト・アプリケーション	15
MIDIタイミングについて	15

基本機能と操作手順 16

起動	16
microSTATION Editor	16
Windows XP / Windows Vista / Windows 7	16
Mac OS X	16
microSTATION Plug-In Editor	16
プリロード・データについて	16

各部の名称と機能 17

接続確認インジケータ (KORGロゴ)	17
Mode (COMBI, PROG, SEQ, GLOBAL)/Browser (BROWSE)/Utility (UTILITY):	18
Program (Combination/Song) Number, Name:	18
Edit Pages、Tabs:	18
Realtime Controls:	18
ARP:	18
Keyboard:	18

操作手順 19

モードの選択	19
プログラム、コンビネーション、ソングの選択	19
プログラムの音色を確認して、エディットするプログラムを選択するには	19
エディターの操作	20
ページ、タブの選択	22
パラメーターの選択と値の変更	22
ユーティリティーの選択と実行	22
ライト (保存)	23
トラックの選択	25
microSTATIONに搭載されている機能	26

エディターの独自機能 27

ユーティリティー・コマンド	27
Load	27
Save	27
Write Combination/Program/Arpeggio Patterns/Drum Kits	27
Rename Arpeggio Pattern/Drum Kit/External Setup	27
Reset Controller MIDI Assign	27
Initialize Combination	27
Copy... /Swap.../Remove...	27
Receive All	27
Transmit All	27

Receive All Combi/Current Combi Bank, Receive All Prog/Current Prog Bank, Receive All SEQ, Receive Global Data/Drum Kit/Arpeggio Pattern	27
Transmit All Combi/Current Combi Bank, Transmit All Prog/Current Prog Bank, Transmit All SEQ, Transmit Global Data/Drum Kit/Arpeggio Pattern	27
Receive Current Combi/Current Prog/1 SEQ/Current Arpeggio Pattern	28
Transmit Current Combi/Current Prog/1 SEQ/Current Arpeggio Pattern	28
Import	28
Export	28
Save as Default	28
Select Auto Load File	28
All Sound Off	28

Software Setup(microSTATION Editorの初期設定) 29

Total Recall & Data Sync Settings	29
Load data file automatically	29
Auto Local Control	29
MIDI Settings	29
MIDI IN Port / MIDI OUT Port	29
Send microSTATION' s MIDI Out data to the host application (VST Plug-In Only) .	30

注意事項 31

USB接続 31

エディター起動時に本体とのデータの同期が失敗する場合、以下を確認してください。	31
microSTATIONを接続するUSBポートについて (Windowsのみ)	31

- * Apple、Mac、Logic ProおよびAudio Units は、Apple Inc.の商標および登録商標です。
- * Windows XP、Windows Vista、Windows 7は、Microsoft Corporationの登録商標です。
- * Intel、Intel Core、Pentiumは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- * CubaseおよびVST は、Steinberg Media Technologies GmbHの商標です。
- * Digital PerformerはMark of the Unicorn, Incの商標です。
- * LiveはAbleton AGの商標です。
- * Pro Tools LEおよびRTAS は、Avid Technology, Inc.およびその関連会社、ディビジョンの商標または登録商標です。
- * 記載されているすべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

おもな特長

microSTATION EditorおよびmicroSTATION Plug-In Editorは、MacintoshまたはWindowsで、microSTATIONのプログラム、コンビネーション、ソング、ドラムキット、アルペジオ・パターン、エフェクトやグローバル・セッティングのエディット等を行なうアプリケーションです。

microSTATION Editor は、スタンドアローン・タイプのエディターです。

microSTATION Plug-In Editor は、VST、Audio Units、RTAS フォーマットに対応したエディターです。DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）ソフトウェアなどのホスト・アプリケーション上で microSTATION をプラグイン・インストゥルメントのように扱うことができます。

使用前のご注意

- ・ 本製品のソフトウェアの著作権は、すべて（株）コルグが所有しています。
- ・ 製品のソフトウェアの使用許諾契約が別途に付属されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこの使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアをインストールすると、この契約にご同意いただいたこととなります。

microSTATION Editor、microSTATION Plug-In Editor 動作環境

Note: microSTATION EditorおよびmicroSTATION Plug-In Editorは、OS上に複数起動することができません。そのため、同時に2台以上のmicroSTATIONを、これらのエディターでエディットすることはできません。

Windows

- ・ 対応コンピューター
CPU： Intel Pentium III / 1 GHz 以上、Pentium D または Core Duo 以上を推奨
メモリー： 512MB 以上（1GB 以上を推奨）
モニター： 1,024 x 768、16bit カラー以上
Windows XP / Windows Vista / Windows 7 の動作環境を満たす USB ポート搭載のコンピューター
- ・ 対応 OS
Microsoft Windows XP Home Edition/Professional Service Pack 3 以降
Microsoft Windows Vista Service Pack 2 以降
Microsoft Windows 7
ただし Windows 7 および Windows Vista の 64 ビット OS 上では、スタンドアローン版のみ動作可能。

Macintosh

- ・ 対応コンピューター
CPU： Apple G4 800MHz 以上（Intel Mac 対応）、G5 または Core Duo 以上を推奨
メモリー： 512MB 以上（1GB 以上を推奨）
モニター： 1,024 x 768、32000 色カラー以上
Mac OS X の動作環境を満たす USB ポート搭載の Apple Macintosh
- ・ 対応 OS
Mac OS X 10.4.11 以降

Note: microSTATION Plug-In Editorを使用するには、ホスト・アプリケーションの動作条件も満たしている必要があります。

インストール

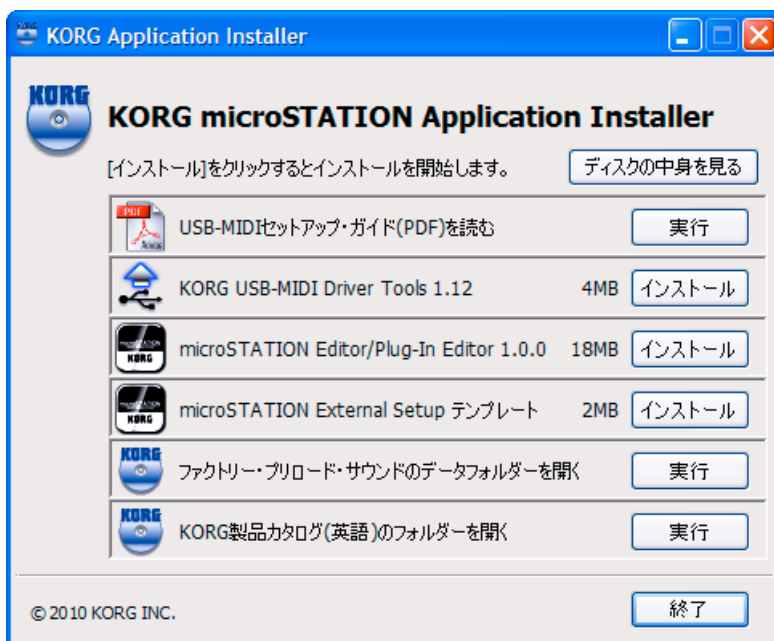
Windowsへのインストール

Windows XP / Windows Vista / Windows 7へのmicroSTATION Editor、microSTATION Plug-In Editorのインストールは以下の手順で行ないます。

🔍 microSTATIONとコンピューターをUSBで接続して、microSTATION Editor、microSTATION Plug-In Editorを使用する場合は、必ずKORG USB-MIDI Driver (付属)をインストールしてください。(KORG USB-MIDI Driver のインストール方法はインストール・ガイドをご覧ください。)

1 付属ディスクをコンピューターのディスク・ドライブに挿入します。
通常、「microSTATION Application Installer」が自動的に起動します。コンピューターの設定などで自動的に起動しない場合は、付属ディスクの中の「KorgSetup.exe」をダブルクリックします。

2 インストールしたいアプリケーションをリストから選び、[インストール] をクリックします。



選んだアプリケーションのインストールが始まります。

3 画面の指示に従って、KORG USB-MIDI Driver、microSTATION Editorなどのソフトウェアをインストールします。

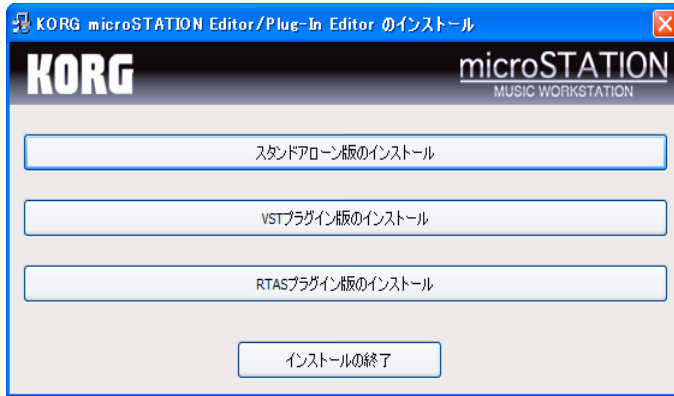
4 選択したすべてのソフトウェアをインストールが終了したら、インストーラーを終了します。

KORG USB-MIDI Driverのインストール

KORG USB-MIDI Driver のインストール方法はインストール・ガイドをご覧ください。

microSTATION Editor / Plug-In Editorのインストール

- 1 「microSTATION Editor/Plug-In Editorのインストール」が表示されます。
Editor (Standalone)、Plug-In Editor (VST)、Plug-In Editor (RTAS) から必要なアプリケーションを順番に選び、インストールします。
例えば、スタンドアローン版をインストールするときは、[スタンドアローン版のインストール]をクリックします。



- 2 microSTATION Editorの画面が表示されますので [次へ >] をクリックします。
- 3 「microSTATION Editorセットアップウィザードへようこそ」の画面が表示されますので、[次へ >] をクリックします。
- 4 「microSTATION Editor情報」が表示されますので、内容を確認してから [次へ >] をクリックします。
- 5 「使用許諾契約書」が表示されますので、内容をよく確認の上、同意される場合は [同意する] をクリックしてから [次へ >] をクリックします。
- 6 「インストール フォルダの選択」の画面が表示されますので、インストール先とインストールするユーザーを選択し、[次へ >] をクリックします。



- 7 「インストールの確認」が表示されます。インストールする場合は[次へ >]をクリックします。インストールを開始します。
- 8 正常にインストールされた場合は、[閉じる]をクリックします。
- 9 「microSTATION Editor/Plug-In Editorのインストール」が表示されます。続いて、ご使用になるプラグイン版をインストールします。手順1からの操作を参照して、インストールしてください。
また、VSTプラグイン版、RTAS版をインストールしない場合は、[インストールの終了]をクリックして、インストールを終了します。同様に、必要なアプリケーションをすべてインストールし終わったら、[インストールの終了]をクリックして、インストールを終了します。

Mac OS Xへのインストール

Mac OS XへのmicroSTATION Editor、microSTATION Plug-In Editorのインストールは以下の手順で行ないます。

- 4 microSTATIONとコンピューターをUSBで接続して、microSTATION Editor、microSTATION Plug-In Editorを使用する場合は、必ずKORG USB-MIDI Driver (付属)をインストールしてください。(KORG USB-MIDI Driver のインストール方法はオペレーション・ガイドをご覧ください。)
- 1 付属ディスクをコンピューターのディスク・ドライブに挿入します。
- 2 付属ディスクの中のエディター用のフォルダの「microSTATION Editor」内にある「microSTATION Editor Installer.pkg」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
- 3 OSのバージョンによっては、ここで認証のダイアログが表示されます。その場合は、パスワードを入力し[OK]をクリックします。
インストーラーが起動すると、以下の画面が表示されますので[続ける]をクリックします。



- 4 「大切な情報」が表示されますので、内容を確認してから[続ける]をクリックします。

- 5 「使用許諾契約」が表示されますので、内容をよく確認の上[続ける]をクリックします。
ソフトウェア使用許諾契約同意のダイアログが表示されますので、同意される場合は[同意します]をクリックします。
- 6 必要な場合は「インストール先の選択」で、インストール先を選択し [続ける]をクリックします。



- 7 「標準(簡易)インストール」のダイアログが表示されます。[インストール]をクリックします。
 - 8 OSのバージョンによっては、ここで認証のダイアログが表示されます。その場合は、パスワードを入力し [OK]をクリックします。
 - 9 OSのバージョンによっては、「インストール後にコンピューターの再起動が必要になります」のダイアログが表示されるので、[インストールを続ける]をクリックすると、インストールを開始します。
正常にインストールが終了したら、[再起動]をクリックします。
- ⚠ 同時に2台以上のmicroSTATIONを1台のコンピューターに接続して使用することはできません。

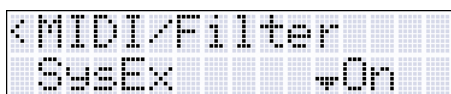
Note: Mac OS Xの場合、プラグイン版も所定のフォルダにインストールされます。

セットアップ

microSTATIONのセットアップ

- microSTATIONとコンピューターをUSBで接続して、microSTATION Editorを使用する場合は、起動する前に、KORG USB-MIDI Driverのインストールとセットアップが終了していることを確認してください。

- 1 microSTATIONのUSB端子とコンピューターのUSBポートをUSBケーブルで接続します。
- 2 microSTATIONのGlobal/MediaモードMIDI Filterの“SysEx”がオンになっていることを確認してください。(工場出荷時の設定は、オフに設定されています。)



- microSTATION Editor起動後にmicroSTATION本体でMIDI Filterの“SysEx”をオフにすると、microSTATION EditorとmicroSTATIONが通信できなくなります。また、本体でプリロード・データをロードした場合も、プリロード設定のMIDI Filterの“SysEx”がオフ(工場出荷時の設定はオフ)のため、同様に通信できなくなります。microSTATION本体でMIDI Filterの“SysEx”をオンに設定しなおしてください。

microSTATION Editor(スタンドアローン版)のセットアップ

microSTATION Editorを起動して、動作を確認してください。

Windows XP/Windows Vista/Windows 7

microSTATION Editorの起動方法

タスクバーの[スタート]ボタン、[すべてのプログラム]を順番にクリックし、メニューの中から[KORG] - [microSTATION] - [microSTATION Editor] を選択して起動します。

また、「KORG」フォルダ「microSTATION」フォルダの中の「microSTATION Editor.exe」アイコンをダブルクリックしても起動します。

「KORG」フォルダはインストール時に選択した場所にあります。デフォルトでは「Program Files」フォルダの中にあります。

Mac OS X

microSTATION Editorの起動方法

「アプリケーション」フォルダ「KORG」フォルダ「microSTATION」フォルダの中の「microSTATION Editor」アイコンをダブルクリックして起動します。

microSTATION Plug-In Editorのセットアップ

🔧 microSTATIONとコンピューターをUSBで接続して、microSTATION Plug-In Editorを使用する場合は、起動する前に、KORG USB-MIDI Driverのインストールとセットアップが終了していることを確認してください。

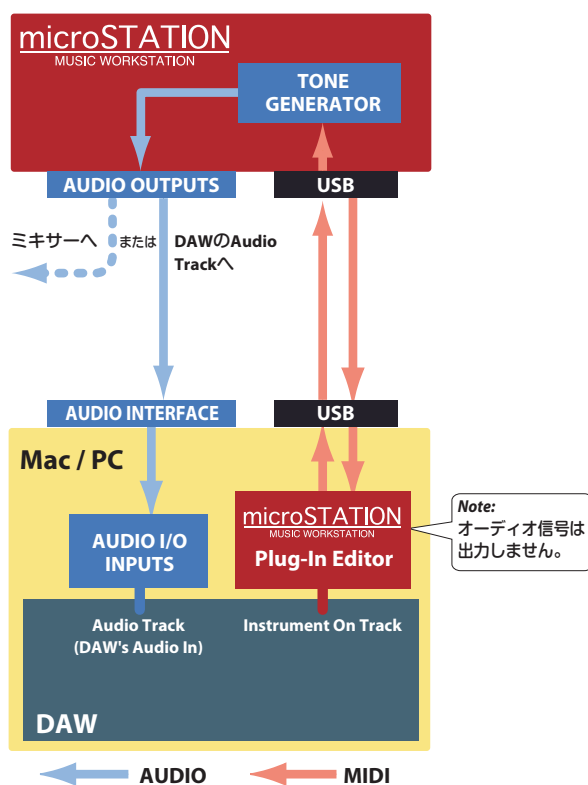
ここでは、microSTATION Plug-In Editorをホスト・アプリケーション上で起動し、動作させるための設定について説明します。それぞれご使用の環境や使用目的に合わせて設定してください。

microSTATION Plug-In Editorについて

microSTATION Plug-In Editorは、microSTATIONとの間でパラメーターのエディット情報のみを送受信します。一般的なプラグイン・インストゥルメントとは異なり、microSTATION Plug-In Editorからはオーディオ信号を出力しません。

オーディオ信号は、microSTATION Plug-In EditorがmicroSTATIONにMIDIメッセージを送信することでmicroSTATIONから出力します。

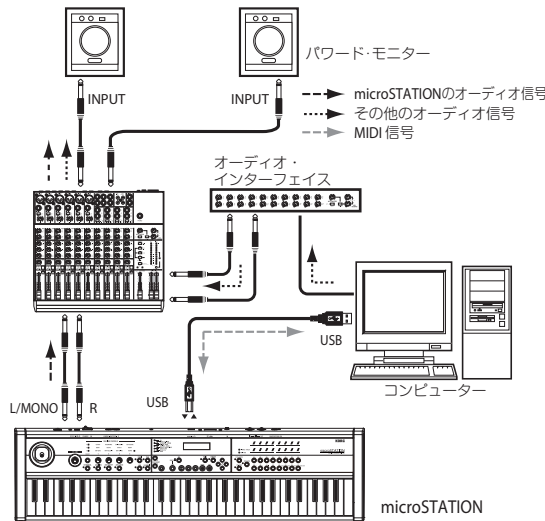
microSTATIONのオーディオ信号を、ホスト・アプリケーションのオーディオ・トラックへ入力し、プラグイン・エフェクトなどと組み合わせて使用するときには、「microSTATIONのオーディオ信号をホスト・アプリケーション上でコントロールする場合」(p.8)を参照してください。



Note: microSTATION Plug-In Editorは、オーディオ信号を扱わない性質上、ホスト・アプリケーション上で、microSTATION Plug-In Editorを起動しているトラックのチャンネルに、プラグイン・エフェクトをインサートしたり、 SEND やバスでオーディオ信号を送ったりすることはできません。

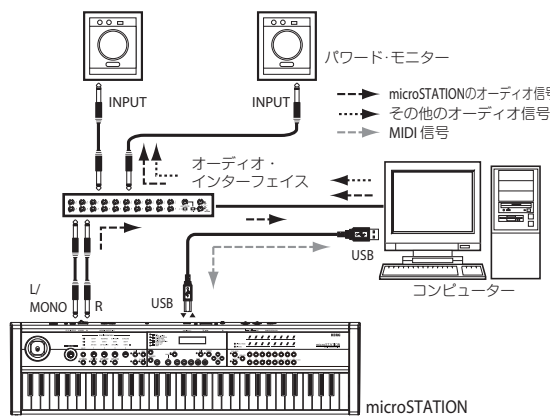
microSTATIONのオーディオ信号を外部ミキサーでコントロールする場合

microSTATIONのオーディオ信号と、オーディオ・インターフェイスから出力されるホスト・アプリケーション上のオーディオ信号や、その他の外部音源と一緒にミキシングするときは、以下のように設定します。



microSTATIONのオーディオ信号をホスト・アプリケーション上でコントロールする場合

microSTATIONのオーディオ信号にプラグイン・エフェクトをかけたり、microSTATIONのオーディオ信号をホスト・アプリケーション上でKORG Legacy Collectionやその他のオーディオ・トラックのデータと一緒にコントロールしたりしたいときは、ご使用になるオーディオ・インターフェイスを通して、ホスト・アプリケーションに入力します。次ページ以降の各ホスト・アプリケーションでの設定例を参照してください。



Note: オーディオ・トラック/MIDI トラック/プラグイン・インストゥルメント・トラックの作成方法や環境設定などホスト・アプリケーション側の操作および設定については、ご使用になるホスト・アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

ホスト・アプリケーションの設定

microSTATION Plug-In Editorをホスト・アプリケーション上で起動し、動作させるための設定について説明します。それぞれご使用の環境や使用目的に合わせて設定してください。

Apple - Logic Pro 9

- 1 Logic Proを起動します。
- 2 ソフトウェア音源トラックを作成し、“microSTATION Plug-In Editor”を起動します。



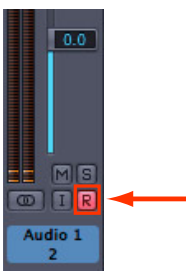
Software Instrument Track

- 3 microSTATIONのオーディオ信号をLogic Proに入力するときは、オーディオ・トラック、またはオーディオAUXトラックを作成します。そして I/O入力に、microSTATIONのオーディオ信号が入力されているオーディオ・インターフェイスのインプットを選択します。



Audio Track

- 4 オーディオ・トラックに入力した場合、RECボタンをONに設定することで、microSTATIONのオーディオ信号を聞くことができます。オーディオAUXトラックに入力した場合、この設定は必要ありません。

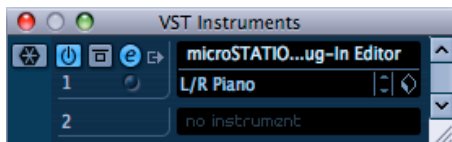


Audio Track

Steinberg - Cubase 5

1 Cubaseを起動して、プロジェクトを作成します。

2 VSTインストゥルメント・ウィンドウに、“microSTATION Plug-In Editor”を起動します。



3 MIDIトラックを作成します。MIDIトラックのOUT先にVSTインストゥルメント・ウィンドウで起動した“microSTATION Plug-In Editor”を選択します。



4 microSTATIONのオーディオ信号をCubaseに入力するときは、オーディオ・トラックを作成します。そして、入力インポートとして、microSTATIONのオーディオ信号が入力されているオーディオ・インターフェイスの入力を選択します。



5 MonitorをONに設定することで、microSTATIONのオーディオ信号を聞くことができます。

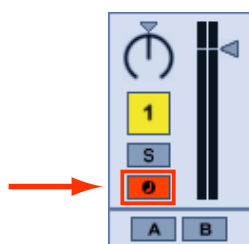


Ableton - Live 8

- 1 Liveを起動して、Liveセットを開きます。「表示」→「セッションビュー」を選択します。
- 2 プラグインデバイスブラウザから“microSTATION Plug-In Editor”をセッションビュー上に、ドラッグ & ドロップすることで、“microSTATION Plug-In Editor”が起動された状態のMIDIトラックが作成されます。
MIDIトラックビューに“microSTATION Plug-In Editor”が起動されていることを確認します。

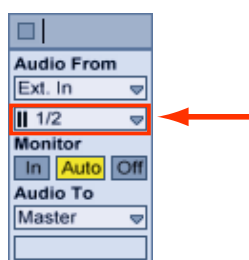


- 3 外部からのMIDI入力を“microSTATION Plug-In Editor”に送るために、アームボタンを押します。



MIDI Track

- 4 microSTATIONのオーディオ信号をLiveに入力するときは、オーディオ・トラックを作成します。そして、オーディオ入出力セクションの入力インプットとして、microSTATIONのオーディオ信号が入力されているオーディオ・インターフェイスの入力を選択します。



Audio Track

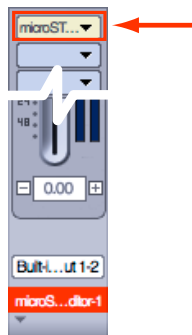
- 5 Monitorを“In”に設定することで、microSTATIONのオーディオ信号を聞くことができます。



Audio Track

MOTU - Digital Performer 7

- 1 Digital Performerを起動します。
- 2 インストゥルメント・トラックを作成して、“microSTATION Plug-In Editor”を起動します。



Instrument Track

- 3 MIDIトラックを作成します。MIDIトラックのOUTに“microSTATION Plug-In Editor”を選択します。

PLAY	XMPT	OUTPUT	TAKE	ENA	COL	TRACK NAME
			1			Conductor
		microSTATION Plug-In Editor-1-1	1			Track-1
		Built-in Output 1-2	1			microSTATION Plug-In Editor-1

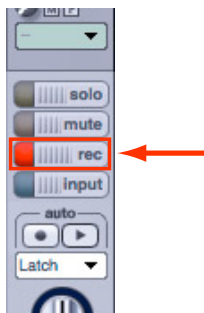
Track Windows-MIDI Track

- 4 microSTATIONのオーディオ信号をDigital Performerに入力するときは、オーディオ・トラックまたは、AUXトラックを作成します。そしてインプットとして、microSTATIONのオーディオ信号が入力されているオーディオ・インターフェイスのインプットを選択します。

INPUT	LEVEL	PLAY	XMPT	OUTPUT	TAKE	ENA	COL	TRACK NAME
					1			Conductor
				M50 Plug-In Editor-1-1	1			Track-1
				DLSMusicDevice-1-1	1			Track-2
				DLSMusicDevice-2-1	1			Track-3
				DLSMusicDevice-3-1	1			Track-4
Built-in Audio 1-2				Built-in Audio 1-2	1			Audio-1
Built-in Audio 1-2				Built-in Audio 1-2	1			Audio-2
Built-in Audio 1-2				Built-in Audio 1-2	1			Audio-3

Track Windows-MIDI Track

- 5 オーディオ・トラックに入力した場合、RECボタンをONに設定することでmicroSTATIONのオーディオ信号を聞くことができます。AUXトラックに入力した場合は、この設定は必要ありません。



Audio Track

Digidesign - Pro Tools LE 8

- 1 Pro Tools LEを起動して、セッションを開きます。
- 2 オーディオ・トラックを作成して、“microSTATION Plug-In Editor”を起動します。



Audio Track

- 3 MIDIトラックを作成します。MIDIトラックのOUTに“microSTATION Plug-In Editor”を選択します。



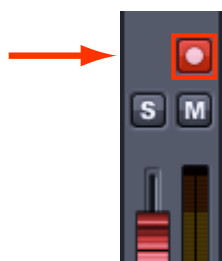
MIDI Track

- 4 microSTATIONのオーディオ信号をPro Tools LEに入力するときは、オーディオ・トラックまたは、AUXインプット・トラックを作成します。そしてインプットとして、microSTATIONのオーディオ信号が入力されているオーディオ・インターフェイスのインプットを選択します。



Audio Track

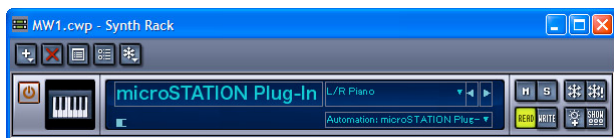
- 5 オーディオ・トラックに入力した場合、RECボタンをONに設定することでmicroSTATIONのオーディオ信号を聞くことができます。AUXインプット・トラックに入力した場合は、この設定は必要ありません。



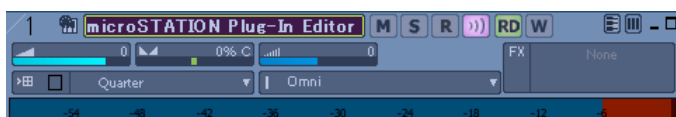
Audio Track

Cakewalk - SONAR8/8.5

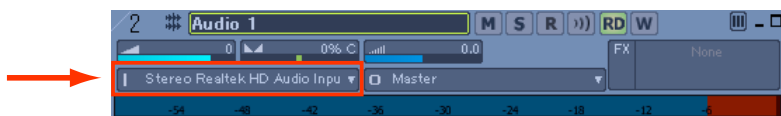
- 1 SONAR8/8.5を起動して、プロジェクトを開きます。
- 2 シンセラック (Synth Rack) から “microSTATION Plug-In Editor” 選び、インストゥルメント・トラック (Instrument Track) を同時に作成させます。



- 3 microSTATION Plug-In Editorが割り当てられたインストゥルメント・トラック (Instrument Track) が作成されます。



- 4 microSTATIONのオーディオ信号をホスト・アプリケーションに入力するときは、オーディオトラック (Audio Track) を作成します。そしてオーディオ・トラックの入力に、microSTATIONのオーディオ信号が入力されているオーディオ・インターフェイスのインプットを選択します。



- 5 オーディオ・トラックに入力されているmicroSTATIONのオーディオ信号を聞くためには、オーディオ・トラックに用意されているインプットモニター (Input Echo) ボタンをONに設定します。



その他のホスト・アプリケーション

- 1 ご使用になるホスト・アプリケーションを起動します。
- 2 プラグイン・インストゥルメントとして“microSTATION Plug-In Editor”を起動します。
- 3 MIDIトラックを作成します。MIDIトラックのOUT先に“microSTATION Plug-In Editor”を選択します。
- 4 microSTATIONのオーディオ信号をホスト・アプリケーションに入力するときは、オーディオ・トラックを作成します。そしてオーディオ・トラックの入力に、microSTATIONのオーディオ信号が入力されているオーディオ・インターフェイスのインプットを選択します。
- 5 オーディオ・トラックに入力されているmicroSTATIONのオーディオ信号を聞くためには、オーディオ・トラックに用意されているモニター・ボタンをONに設定します。

Note: 「その他のホスト・アプリケーション」については、必ずしもすべてのホスト・アプリケーションのセットアップに当てはまるとは限りません。ご使用のホスト・アプリケーションと似た構成を持つホスト・アプリケーションの設定方法と、ご使用のホスト・アプリケーションの取扱説明書を参考に設定してください。

MIDIタイミングについて

MIDIタイミングに揺れが生じる場合は、microSTATION Plug-In Editor を介さずに、microSTATIONへ直接MIDI情報を送るように設定してください。この場合、ホスト・アプリケーションのMIDIトラックのMIDI OUT先として、microSTATIONのSOUNDポートを選択することによって、microSTATIONへ直接MIDI情報を送ることができます。

Note: MIDIトラックの作成、MIDIトラックのMIDI OUT先の設定については、ご使用のホスト・アプリケーションの取扱説明書をご参照ください。


基本機能と操作手順

起動

microSTATION Editor

- ・ 「KORG」 - 「microSTATION」フォルダの中の「microSTATION Editor」を起動します。

Note: エディターは、起動時にmicroSTATIONのプログラム等の設定データを自動的に読み込ませることができます(☞p.29「Software Setup (microSTATION Editorの初期設定)」を参照)。

 データの送受信中は、コンピューターのキーボードやマウス等に触らないでください。

Windows XP / Windows Vista / Windows 7

「KORG」フォルダは、タスクバーの[スタート] - [すべてのプログラム]の中にあります。


Mac OS X

「KORG」フォルダは、「アプリケーション」フォルダの中にあります。

microSTATION Plug-In Editor

microSTATION Plug-In Editorの起動方法については、「microSTATION Plug-In Editorのセットアップ」(☞p.7)の各ホスト・アプリケーションの項目を参照してください。

Note: エディターは、起動時にmicroSTATIONのプログラム等の設定データを自動的に読み込ませることができます(☞p.29「Software Setup (microSTATION Editorの初期設定)」を参照)。

 データの送受信中は、コンピューターのキーボードやマウス等に触らないでください。

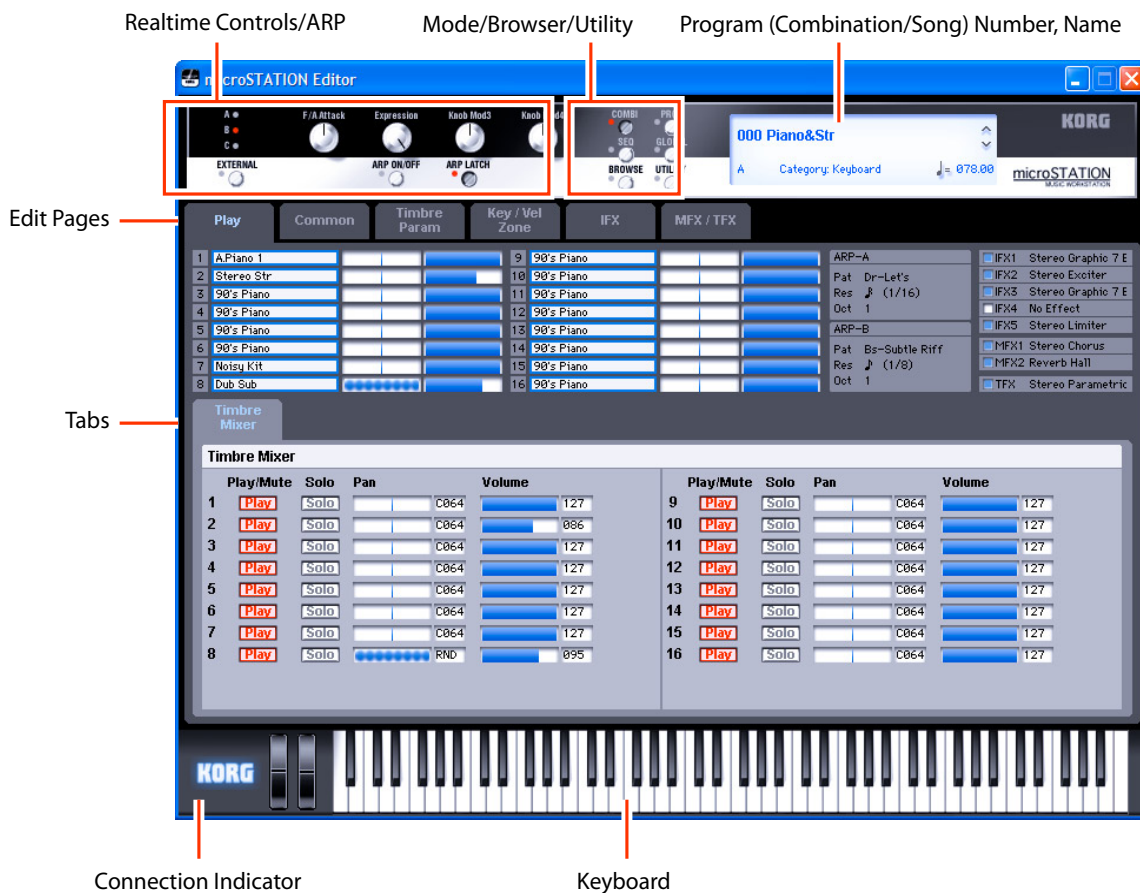
プリロード・データについて

microSTATION Editorを起動して、Receive Allを実行してすべてのデータをmicroSTATION Editorに読み込ませます。そしてそのデータをプリロード・データとしてファイルに保存しておきます。

microSTATION Editor起動時にこのデータ・ファイルを自動的に読み込ませるように設定すると、microSTATIONからデータを読み出す必要がなくなるため起動時間を短縮できます(☞p.29「Software Setup(microSTATION Editorの初期設定)」を参照)。

各部の名称と機能

起動すると次のような画面が表示されます。(図は Combination モードの画面です。)



接続確認インジケータ(KORGロゴ)

microSTATION Editor/microSTATION Plug-In EditorとmicroSTATIONの接続状態を表示します。

• 点灯



microSTATION Editor/microSTATION Plug-In EditorとmicroSTATIONがMIDIで接続されています。

• 消灯



microSTATION Editor/microSTATION Plug-In EditorとmicroSTATIONは接続されていません。

Mode (COMBI, PROG, SEQ, GLOBAL)/Browser (BROWSE)/Utility (UTILITY):

プログラム、コンビネーション、シーケンサー、グローバル・モードを選択します。BROWSEは、microSTATION上の各プログラム、コンビネーション、ソング・ネームを表示します。UTILITYは選択しているページで使用できるユーティリティー・コマンドを表示および実行します。保存はここで行ないます。

Program (Combination/Song) Number, Name:

プログラム、コンビネーション、ソングナンバー、ネームを表示します。右横の上下矢印でプログラム、コンビネーション、ソングの変更が行なえます。

Edit Pages, Tabs:

エディットするページを選択します。

Realtime Controls:

A/B/Cまたは EXTERNAL ボタンにより選択された設定により、それぞれに割り当てられた機能で音色や音量、アルペジエーター、外部MIDI機器などをコントロールします。

ARP:

アルペジエーターの状態を設定します。

Keyboard:

88鍵のキーボード、ピッチ・バンド・ホイール、モジュレーション・ホイールで構成されています。鍵盤をクリックすると演奏することができます。鍵盤を左右にドラッグすることでグリッサンド奏法も可能です。ピッチ・バンド・ホイール、モジュレーション・ホイールは、上下にドラッグして操作します。

操作手順

モードの選択

エディットしたいモード (Mode) のボタンをクリックして、モードを選択します。

COMBI： コンビネーションを選択して、演奏およびエディットします。

PROG： プログラムを選択して、演奏およびエディットをします。

SEQ： シーケンサーのソングを選択して、演奏およびエディットします。

GLOBAL： ソフトウェア・セットアップ、グローバル・セッティング、MIDI セッティング、コントローラー CC アサイン、スケール、カテゴリー・ネーム、ドラムキット、アルペジエーターをエディットします。

プログラム、コンビネーション、ソングの選択

- [BROWSE] ボタンをクリックしてサウンド・リストを表示させ、プログラム（またはコンビネーション、ソング）を選択します。選択できる対象はモードごとに異なります。
- Category Select、Bank Select を選択することによって、サウンド・リストに表示するプログラム（またはコンビネーション）をカテゴリーごと、またはバンクごとに絞り込むことができます。

プログラムの音色を確認して、エディットするプログラムを選択するには

- 1 Modeの[PROG]ボタンをクリックして、プログラム・モードに入ります。
- 2 [BROWSE]ボタンをクリックして、プログラム・リストを表示します。
- 3 いずれかのプログラムをクリックして選択します。microSTATIONの鍵盤を弾くと音色が確認できます。
- 4 エディットするプログラムが決定したら、[OK]ボタンをクリックして、プログラムをロードします。

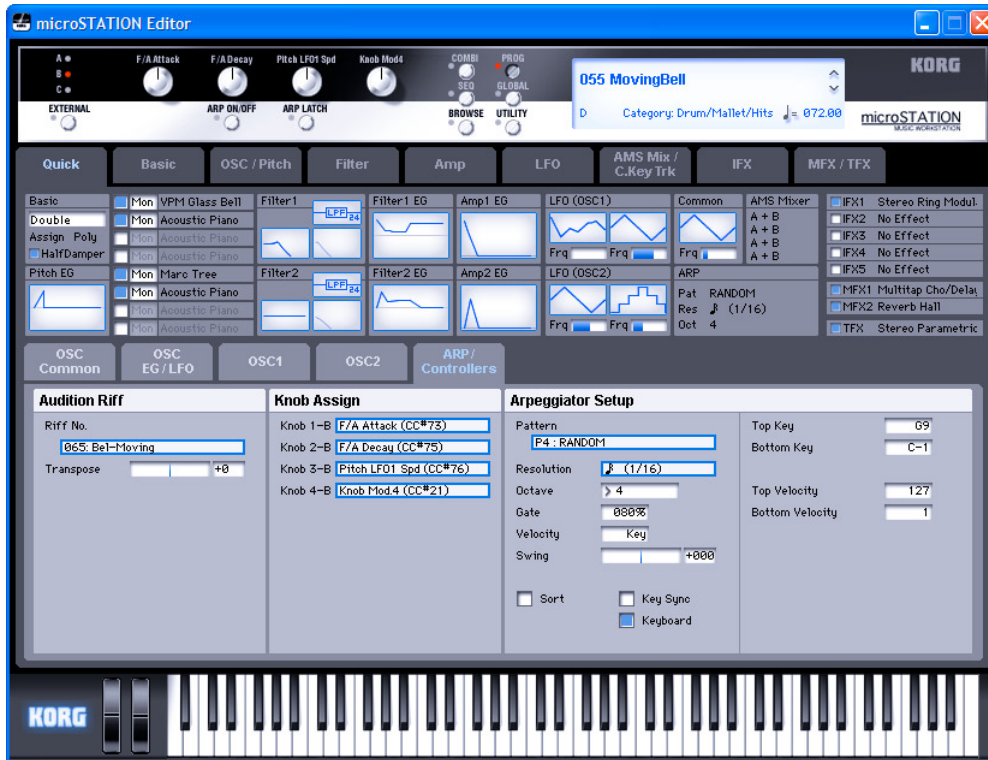
エディターの操作

- 1 Programモードを選び、Edit Pagesの[Quick]タブをクリックします。
このQuickページでは、microSTATION本体でエディットできるエフェクト以外のすべてのパラメーター(Quickパラメーター)をエディットできます。エフェクトは[IFX]、[MFX/TFX]タブの各ページでエディットします。
- 2 画面上段のRealtime Controls左のセクタを[A]に合わせます。
4つのノブの表示が[CUTOFF]、[RESONANCE]、[EG INTENSITY]、[EG RELEASE]になります。
- 3 Realtime Controlsの4つのノブを使って音色を変化させます。画面のノブをマウスで動かしてもmicroSTATION本体の4つのノブを動かしても同じ効果が得られます。各パラメーターの説明は、microSTATIONパラメーター・ガイド(PDF)を参照してください。



- 4 画面中段のタブを[ARP/Controllers]に合わせます。
- 5 次にアルペジエーターをコントロールするため、Realtime Controlsのセクタを[C]に合わせます。
4つのノブはアルペジエーターをコントロールする機能に変わります。

- 6 Realtime Controlsのノブの下にあるARP ON/OFFボタンとARP LATCHボタンをオンにして、microSTATION本体の鍵盤を弾くと、アルペジオによる演奏が始まります。演奏中のアルペジオのパターンを変更するには画面下段のArpeggiator Setup内にあるPatternを変更してください。

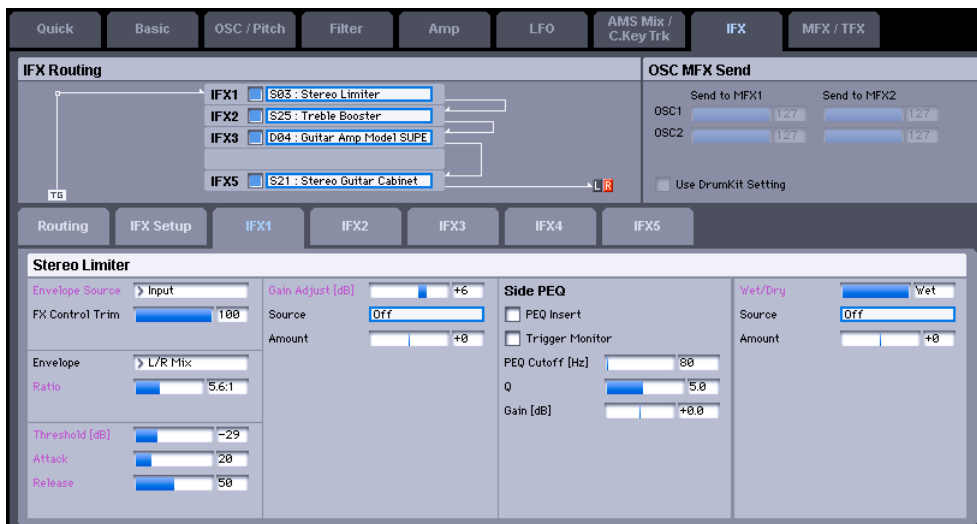


- 7 アルペジエーターを演奏させながら、4つのノブをエディターまたはmicroSTATION本体から動かして、演奏の変化を確認してください。

- 8 Quickページ上段では、Program モードの代表的なパラメーターの現在値を確認することができます。このOverview部は、セクションごとにパラメーターを分けて表示します。各パラメーターのセクション名(“Pitch EG”や“Filter1 EG”など)の部分をクリックすると、該当するパラメーターをエディットするためのページ/タブに自動的にジャンプします。

- 9 Edit Pagesの[BASIC]タブ以降のページで、microSTATION本体ではエディットすることができないすべてのパラメーターをエディットできます。

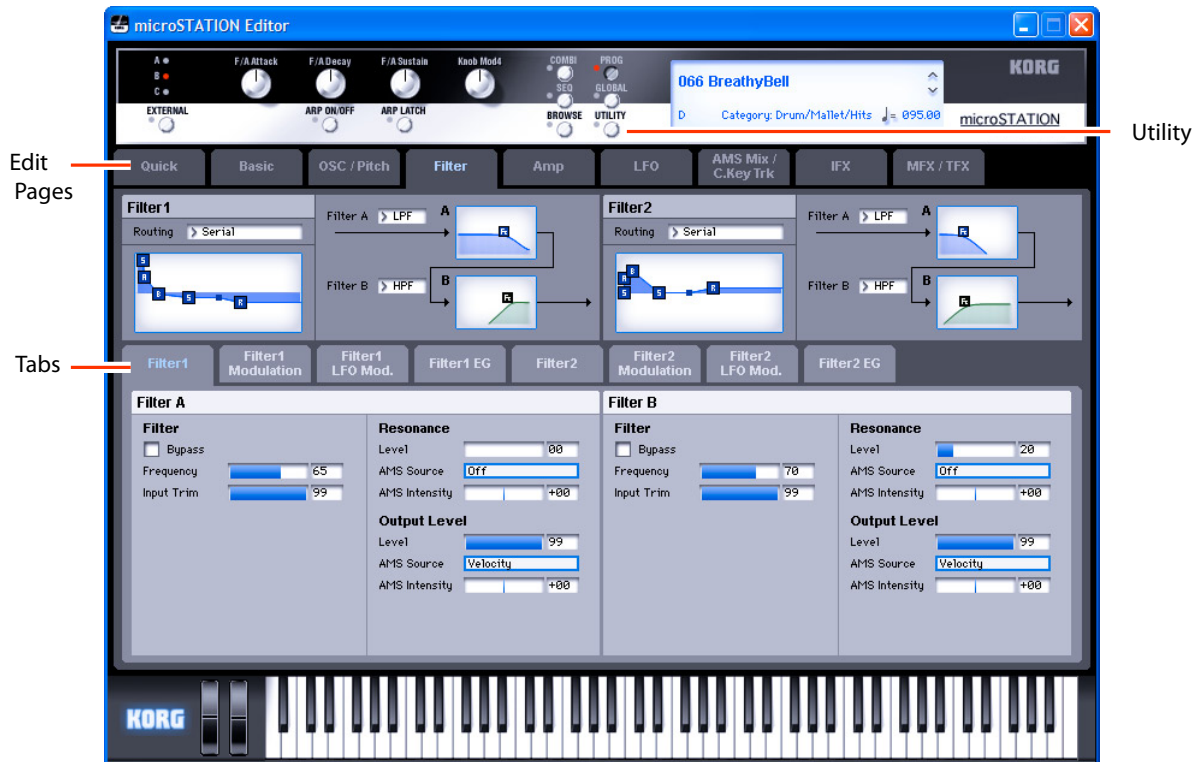
また、[IFX]と[MFX/TFX]タブの各ページで、microSTATION本体ではエディットすることができない、すべてのエフェクト・パラメーターをエディットできます。パラメーター名が紫色で表示されているパラメーターが、microSTATION本体でエディットできるエフェクト・パラメーターです。



ページ、タブの選択

詳細なエディットをするときは、各ページとタブを切り替えて、目的のパラメーターを選択します。グローバル・モードは、ドラムキット、カテゴリー・ネーム、スケール(音律)などがページ単位で区分されています。ページ(またはタブ)を選択し、エディットします。

- ・ エディットしたいエディット・ページ (Edit Pages) のタブをクリックして、ページを選択します。
- ・ ページ内のタブ移動は中段のタブ (Tabs) で選択します。



パラメーターの選択と値の変更

- ・ ディスプレイ上でマウスを操作してエディットをします。
例えば、EG の図の四角の部分のマウスでドラッグすると EG の形状を変化させることができます。

Note: 各パラメーターについては、付属の「パラメーター・ガイド」(PDF版)を参照してください。

ユーティリティの選択と実行

ユーティリティは、ページごとに有効なコマンドです。選択するページによって選択できるユーティリティが異なります。また、エディットまたは作成したデータのコンピューターへのセーブ、ロード、システム・エクスクルーシブ・データのインポートを行いません。UTILITYをクリックして表示されるメニューからコマンドを選択します。

Note: エディター独自のユーティリティ・コマンドについては、「microSTATIONに搭載されている機能」(p.26)を参照してください。

- 1 [UTILITY] ボタンから実行するコマンドを選択します。
- 2 必要な設定を行い、実行するときはOKをクリックします。

ライト (保存)

エディットをした後は、必要に応じてライト(保存)してください。

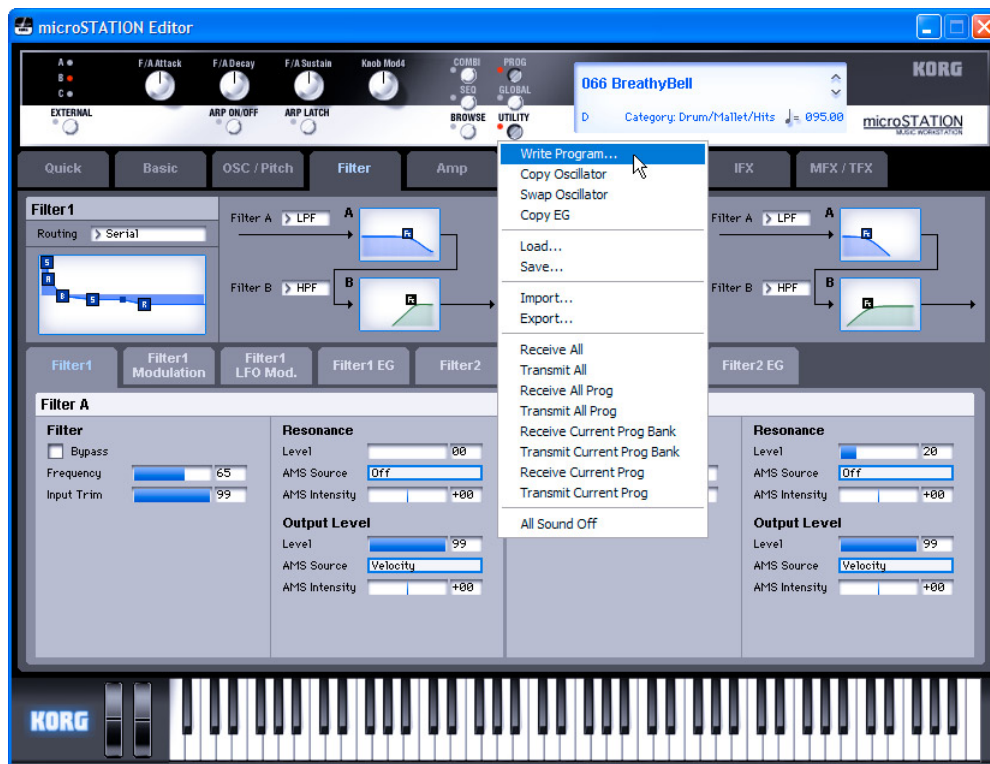
 このライト操作によって、microSTATIONにエディットした設定が保存されます。

ライトを実行する前に、他のプログラムを選んだり、アプリケーションを終了したりすると、エディットしていた内容は消失します。コンビネーションやシーケンサーについても同様です。

グローバル・モードの設定はアプリケーションを終了するまで Editor に残りますが、[Write Global Setting] またはグローバル・モード各ページの右上にある [DUMP] を実行しないと microSTATION 本体に反映および保存されません (一部 [DUMP] ボタンがないページもあります)。ここではプログラム・モードでエディットしたプログラムをライトする方法を説明します。

1 [UTILITY] ボタンをクリックして、ユーティリティ・メニューを表示します。

2 メニュー・リストの中から [Write Program] を選択します。



3 プログラムの名前、カテゴリー、保存先を指定して[OK]ボタンをクリックします。

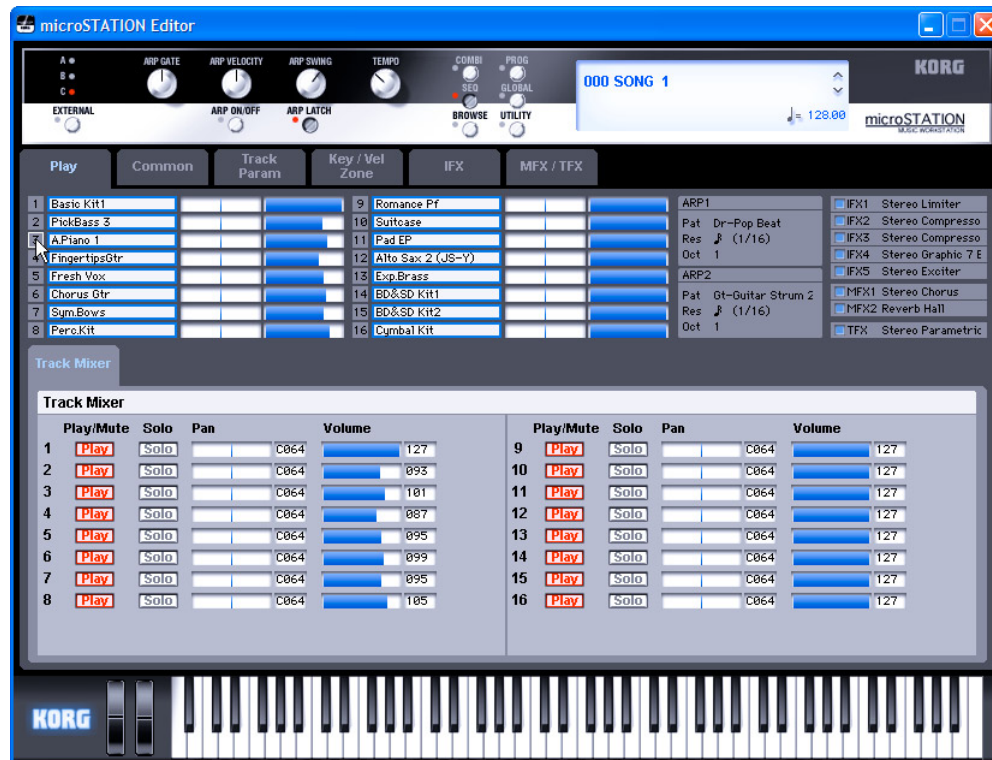


Note: microSTATION本体のメニュー・コマンドを実行すると、EditorとmicroSTATION本体のデータが一致しなくなることがあります(Swap Oscillatorなど)。その場合は、EditorのUTILITYメニューから、カレント・ダンプの受信(Receive Current Progなど)を実行してください。

トラックの選択

Sequencer モードではカレント・トラックを選択することができます。カレント・トラックはSequencer モードの各ページで共通です。トラックを選択するには、そのトラックの番号をマウスでクリックします。そのトラックがカレント・トラックとして選択されると、トラックのまわりに白枠が表示されます。

Note: カレント・トラックを選択できないページもあります。カレント・トラックが選択できるページでは、現在のカレント・トラックに白枠が表示されています。



microSTATIONに搭載されている機能

1 Drum Kit

Drum Kitのページでは、鍵盤ごとのドラムサンプルの選択や、各ドラムサンプルの発音条件を決めるためのパラメーターなど数々のパラメーターを視覚的に確認しながらエディットできます。



2 Arpeggiator

アルペジエーターとは、アルペジオ（分散和音）を自動的に発生する機能です。microSTATION Editorでは、microSTATIONに搭載されている最大2基のアルペジエーターの各モード (PROG/COMBI/SEQ) でのパラメーターの設定、GLOBALモードのアルペジオ・パターンのエディット、そして4つのノブの値をリアルタイムに表示することができます。アルペジオ・パターンのエディット画面では、フレーズをモニターしながらアルペジオのパターンをエディットできます。



エディターの独自機能

microSTATIONにはない、エディター (microSTATION Editor、microSTATION Plug-In Editor) でのみ設定可能な機能です。

ユーティリティー・コマンド

Load

コンピューターに保存されているエディターのデータを読み込みます。

Save

エディター上のデータをファイルとしてコンピューターへ保存します。

Note: これらの機能は、エディターのアプリケーション専用ファイルとして、読み込みまたは保存します。

Write Combination/Program/Arpeggio Patterns/Drum Kits

エディターで変更した現在のデータをmicroSTATION本体に送信し、本体メモリーに書き込みます。

Rename Arpeggio Pattern/Drum Kit/External Setup

それぞれの名前を変更し、その結果をmicroSTATION本体に送信します。

Reset Controller MIDI Assign

microSTATION本体にあるGlobal/Mediaコマンド“Reset ARP CC#”と同じです。詳細はmicroSTATIONのパラメーター・ガイドをご覧ください。

Initialize Combination

現在選択しているコンビネーションの設定を初期化します。

Copy... /Swap.../Remove...

microSTATION本体のCommandメニューと同等の機能と、エディター専用の機能があります。各Tabページで扱っているデータに対するCommandメニューが表示されます。

Receive All

microSTATIONのすべてのデータをエディター上に読み込みます。

Note: シーケンサー・モードのシーケンサー演奏データを除きます。

Transmit All

エディター上のすべてのデータをmicroSTATIONに送信し、本体メモリーに書き込みます。

Receive All Combi/Current Combi Bank, Receive All Prog/Current Prog Bank, Receive All SEQ, Receive Global Data/Drum Kit/Arpeggio Pattern

microSTATIONの各データをエディター上に読み込みます。

Transmit All Combi/Current Combi Bank, Transmit All Prog/Current Prog Bank, Transmit All SEQ, Transmit Global Data/Drum Kit/Arpeggio Pattern

エディター上の各データをmicroSTATIONに送信して、書き込みます。

Receive Current Combi/Current Prog/1 SEQ/Current Arpeggio Pattern

microSTATIONの各データをエディター上に読み込みます。

Transmit Current Combi/Current Prog/1 SEQ/Current Arpeggio Pattern

エディター上のそれぞれのデータをmicroSTATIONに送信します。

Note: これらのReceive、Transmit機能は、KORG System Exclusive MIDI Dumpを用いて、microSTATIONとソフトウェア上のデータの送受信や、データの同期など行ないます。

⚠ データの送受信中は、コンピューターのキーボードやマウス等に触らないでください。同様に、microSTATIONのパネル・ボタンや鍵盤等に触らないでください。

Import

microSTATIONのPCGデータをエディター上に読み込みます。

Export

microSTATION Editorで作成したデータを、microSTATIONのPCGデータとして保存します。

Save as Default

エディターのGlobalモードのSoftware Setupでの設定を、エディターを起動したときの初期値として保存します。

Note: Save as Default、Select Auto Load Fileは、エディターのGlobalモードのSoftware Setupページでのみ選択できます。

Select Auto Load File

Software SetupタブのLoad data file automaticallyで指定されるファイルを選択します。

Note: Load data file automaticallyを参照してください。(p.29)

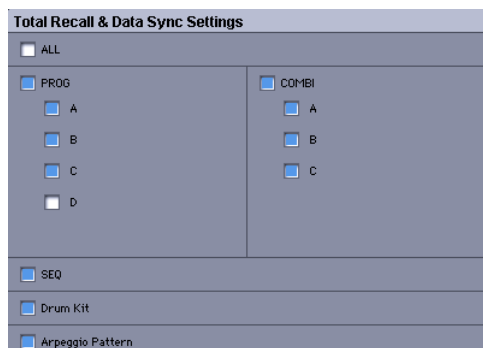
All Sound Off

ホスト・アプリケーション上の操作によっては、本体の発音が止まらなくなることがあります。この症状が発生した場合は、“All Sound Off” を実行してください。

Software Setup(microSTATION Editorの初期設定)

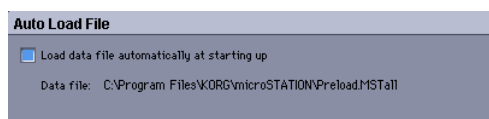
microSTATION Editor 起動時の設定をGlobalモードのSoftware Setupで設定することができます。この設定はUTILITYのSave as Defaultを実行すると保存され、次回起動時に有効となります。

Total Recall & Data Sync Settings



DAW ソフトウェアのソング・データの一部として、保存および読み込みを行なうエディターのデータを設定します。必要とするデータだけを保存したいときに使用します。また microSTATION Editor 起動時にコンピューターに接続してある microSTATION から、ここでチェックされているデータのみ自動的に読み込みます（データの同期を行いません）。データダンプは時間がかかるので、この機能を使わずに Load data file automatically 機能を使用するか、または UTILITY の Load を使ってあらかじめ保存しておいたデータ・ファイルを microSTATION Editor に読み込ませることにより、起動時間を短縮させることも可能です。

Load data file automatically



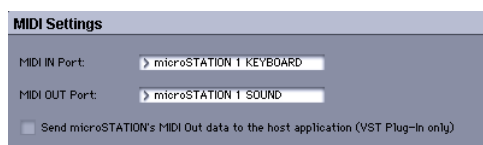
microSTATION Editor 起動時に、自動的にここで指定したデータ・ファイルを Editor に読み込みます。この処理を行なった後に、Total Recall & Data Sync Settings でチェックしたデータのデータダンプによる読み込み処理が行なわれます。

Auto Local Control



エディター起動時、自動的に microSTATION のローカル・コントロール情報を適切な状態に設定します。通常は、このパラメーターをオンに設定することをおすすめします。終了時は microSTATION のローカル・コントロール情報を元の状態に戻します。

MIDI Settings



microSTATION Editor と microSTATION の MIDI 接続に関する設定を行いません。

MIDI IN Port / MIDI OUT Port

microSTATION と microSTATION Editor の接続ポートを選択します。現在接続されている MIDI ポートの名称が表示されます。microSTATION と microSTATION Editor が正常に接続されている場合、起動時に microSTATION Editor が microSTATION を検索して自動的に MIDI ポートを設定するため、この設定を変更する必要はありません。

Send microSTATION' s MIDI Out data to the host application (VST Plug-In Only)

このオプションをONにすると、microSTATION本体の MIDI OUTデータをプラグイン・インストゥルメンツの出力として、ホスト・アプリケーションに転送します。

出力できるMIDIメッセージはショート・メッセージのみです。プラグイン・インストゥルメンツが出力するMIDIデータを受信することができるホスト・アプリケーションを使用した場合、microSTATIONのアルペジエーターが生成するMIDIメッセージ等を、他のソフトシンセのMIDIトラックへ流すことが可能になります。

注意事項

USB接続

エディター起動時に本体とのデータの同期が失敗する場合、以下を確認してください。

- USB-MIDI 使用時には、必ず KORG USB-MIDI Driver を使用してください。OS に付属の標準ドライバーでは、データ転送が著しく遅かったり、正常に通信が行なえなかったりします。
- USB ハブを使用している場合は、コンピューター本体の USB ポートに直接 microSTATION を接続して、動作を確認してください。また、接続されている USB デバイスをすべて外して microSTATION のみで動作を確認してください。

なお、データの同期が失敗したときは、エディター・ソフトウェアの UTILITY のメニューから、必要に応じて Receive All または Transmit All を実行し、本体とデータの同期を行なってください。

microSTATIONを接続するUSBポートについて (Windowsのみ)

microSTATIONのUSBはUSB1.1ですが、コンピューター本体のUSBポートがUSB2.0に対応している場合、接続方法によりUSBのデータ転送速度を上げられる場合があります。

コンピューター本体のUSB2.0対応ポートに直接 microSTATION を接続すると、データ転送が遅い場合があります。このような場合には直接 microSTATION を接続せずに、USB2.0のハブを使用して microSTATION を接続してください。これにより USB のデータ転送が速くなる場合があります。

KORG 株式会社コルグ

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

<http://www.korg.co.jp/>

© 2010 KORG INC.